

チェンジ・メイカー育成プログラム（第4期）「上野村から、日本を変える」

開催期間：2022年10月21日～12月22日

主催：立命館東京キャンパス

共催：ジャパンラーニング株式会社



ジャパンラーニング株式会社



チェンジメイカーとは…

=課題の本質を見極め、試行錯誤を繰り返して状況を変化させられる課題解決・変革型人材=

群馬県上野村の協力を得、東京での事前ワーク・セッションと現地でのフィールドワークを通して、地域の課題の発見と解決を行いながら、受講生一人ひとりが「チェンジ・メイカー」になることを目指す実践型の人材育成プログラム

【プログラム概要】

多様なバックグラウンドを有する受講生4名で1つのチームを組み、上野村側から示された複数のテーマから解決可能な課題を設定し、チームでリサーチ活動を行いながら解決策を提案します。

【プログラムの構成】

「スキル系科目(WEBオンデマンド)」「グループワーク(木曜夜間：オンラインセッション)」「フィールドワーク(2日間)」「成果報告会(1日)」=合計約40時間程度のプログラム=

【プログラムの狙い】

本プログラムでは、PBL (Project Based Learning) を通してこれからの社会に求められる「チェンジ・メイカー」へと成長することを目指し、以下の3つの力を伸ばすことに注力します。

- ①限られた時間の中で自ら課題を抽出することで、自ら考え抜く力を育てます。
- ②一連の活動をグループで行うことで、合意形成へ向けたコミュニケーション能力を育てます。
- ③現実に即した状況で解決策提案をゴールとし、やりきる経験を得ることで、実行力を育てます。

【PBLのテーマ】「中山間地域の持続的な未来」 提案先：上野村役場、上野村振興公社

テーマA：魅力あふれる村づくり (サステナブルツーリズム)

テーマB：自立した循環型の村づくり (サステナブルビジネス)

テーマC：住み続けたい村づくり (サステナブルライフスタイル)

群馬県上野村 人口の約3割が移住者 群馬県で最小人口の自治体

群馬県の最南端に位置する上野村は、人口は1100人余り。

「平成の名水百選」に選ばれた神流川が流れる、自然豊かな美しい村です。

「自治体のあり方は、市町村と、そこで暮らす住民が決めるものだ」。平成の市町村大合併で「合併しない宣言」をし、自立と挑戦の道を歩んだ上野村は、いまや人口の約3割がU・Iターンという、全国でも有数の移住者が多い村となりました。

村の総面積の95%を占める森林を効果的に活用し、林業の振興、観光業の推進、新エネルギーの活用対策、バイオマス発電など、村独自の循環型経済の構築へ、住民が一体になって、新しい挑戦を続けています。



授業スケジュール	日程・時間	概要
セッション1	10/21 (金) 1400-1800	【キックオフ】①開講式 ②基礎講義 ③EQ結果解説 ④チームビルディング
セッション2	10/27 (木) 1900-2130	【課題理解と発見】①課題を深めるミニ講義 ②チーム活動 ③全体のシェア
セッション3	11/4 (金) ~11/5 (土)	【群馬県上野村フィールドワーク】①村長のレクチャー②村内の観光施設・事業者等見学③現地交流
特別セッション	11/10 (木) 1900-2030	【事例紹介】①地域ブランディングについて ②グループディスカッション
セッション4	11/17 (木) 1900-2130	【課題整理と解決策検討】①FWの成果共有 ②チーム活動 ③全体シェア
セッション5	11/24 (木) 1900-2130	【解決策検証】①グループ混成セッション ②チーム活動 ③全体シェア
セッション6	12/1 (木) 1900-2130	【プレ発表】①プレ・プレゼンテーション ②意見交換 ③チーム活動
セッション7	12/8 (木) 1900-2130	【検討と修正】①チーム進捗報告 ②チーム活動 ③全体シェア
セッション8	12/16 (金) 1300-1700	【成果報告会（上野村）】①チームによるプレゼンテーション②講評 ③感想シェア
(ポストセッション)	12/22 (木) 1900-2100	【リフレクション】①「EQポスト受検」フィードバック②チームとサポーターでのリフレクション
実施形態	<ul style="list-style-type: none"> ・セッション1（立命館東京キャンパス）セッション3、8（上野村）は対面実施。 ・その他の夜間セッション（1900-2130）は遠隔（ZOOM）実施。 ・各セッション終了後「リフレクションシート」を各自作成し、チーム内で相互にフィードバック。 ・アセスメントテスト：EQ受検は2回（プレ・ポスト）。キャリア面談も希望者に対して2回実施。 	



【成果（各チームの提案）】

A:①広報・SNS戦略の見直しー既存顧客（量）と新規顧客（質）でのペルソナ設定

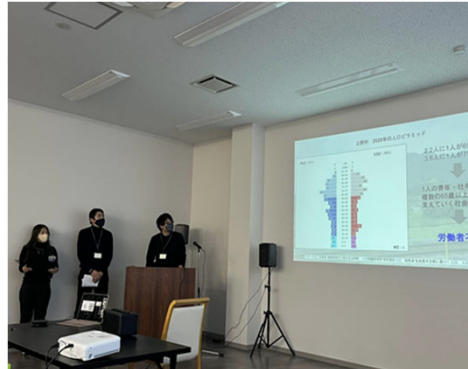
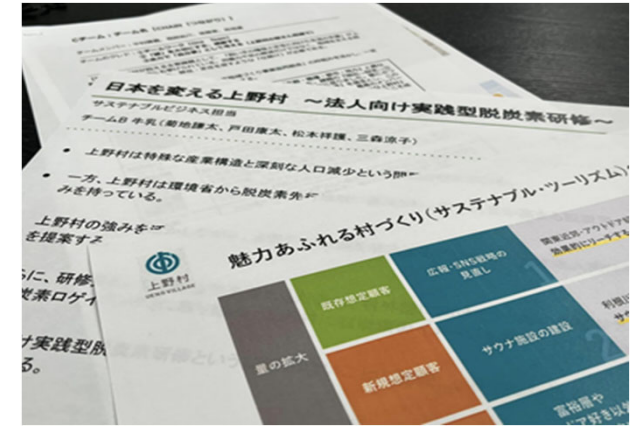
②利根川水資源と上野村の森林資源を活かした「サウナ施設」の建設

B:日本を変える上野村～「法人向け実践型脱炭素研修」の実施

①もみの木ビジネス（村外ブランド化） ②脱炭素ロゲイニング（村内ブランド化）

C:大人の山村留学～新たな「第二のふるさと」～ 「癒」×「職」×「住」

①ヒーリング・ホリデー ②ヒーリング・リセット



【受講者からのコメント】

○とても貴重な機会でした。多様な参加者の方々と議論し、実際の自治体運営者の方々からフィードバックを頂きながら発表を行ったことはあまり経験できない得難い体験であったと思います。

○サポート体制は充実しており安心して参加できました。色々な方が関わっておられ、たくさんの示唆や助言をいただけたのはすごくよかったです。

○毎日の仕事では得ることができない体験でした。自分の常識を見直し、視野を広げることができました。また、EQのアセスメントでは自分の強みと弱みを再確認できました。

【現地事業者・関係者からのコメント】

○いずれの提案も地域課題をよく掴んでいただいている。プログラムを通して上野村のことを一緒に考えてくれたことで非常に大きな繋がりができた。

○限られた時間の中で最大限の価値が提供できないかについて本気で考えられた提案であった。

○上野村が閉じられた村ではなく、色々な人が来るオープンな村になっていくことで発展していく。その可能性が感じられた。

○熱意と顔の見える提案。現場に行って情報を取ることは一般的なデータだけではなく現場の内情を知っての提案でより理解できた。

【POINT】

- コロナ感染予防対策を取りつつ「対面と遠隔（ZOOM）」のハイブリッドでの開催
- 各チームには議論をサポートするアドバイザーを配置
- 各セッション終了後「リフレクションシート」を記入、アドバイザーとチームメンバーからのフィードバック
- 「フィールドワーク」では、上野村黒澤村長からのレクチャー他、現地事業者との対話、役場職員とのディスカッションを実施
- 「グループ混成セッション」を複数回行い、他のチームの検討内容を共有しながら3つのチームが有機的につながるよう進行
- 成果報告会は「道の駅上野」で実施。村長をはじめ現地事業者・協力者の方々約20名を招いてハイブリッドで開催



1. 「大都市圏」と「地方」との経験交流・人材交流

地方の現状、企業や地域の課題を知る・視野を広げる
ライフキャリアデザイン、働き方、生き方の転換を考える機会に

2. 脱・予定調和のPBL（Project-Based Learning）課題解決型学習

背景の異なる受講者が「安心・安全な場」で真剣に議論する、自分事として「課題の現場」で課題を見つけて実現可能な解決策をチームで提案

3. 自分自身の成長・変化を可視化する

プログラムの“プレとポスト”でアセスメントテスト（EQ）を実施
キャリアコンサルタントによるキャリア面談も実施

4. 実際のビジネスにつながる視座

チームの提案が“提案のまま”終わるのではなく、ジャパンラーニング社と上野村振興公社の連携で新たな事業展開の可能性を追求